

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築			
市町村名	松本市		ふりがな 箇所名	(主) 社 田 岡 線 <small>そうざあかたせん</small>		湯の原 <small>ゆのはら</small>	事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~		H24 年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=40m W=5.5(9.0)m					H22年度末事業進捗率	0%			
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%			
	H23年度実施内容	測量設計、用地補償 1式					用地補償費ベース	0%			
	事業費計(千円)	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残					
	財源内訳	国庫支出金	50,000	0	0	40,000	50,000				
	その他										
	県債	45,000	0	0	36,000	45,000					
	一般財源	5,000	0	0	4,000	5,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評 価			部	政策評価課				
			ランク	評点	ランク	評点					
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上~4,000台/日未満	1,500台未満	B	4	B	4		
		代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある			0		0		
		ネットワーク (道路網)	バス路線である	駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	A及びBに該当しない		5		5		
			ボトルネック箇所	ボトルネック箇所でない			0		0		
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路	観光地に通じる道路ではない			2		2		
			4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)		0		0		
		歩道未整備区間に歩道を設置	歩道はあるが不十分であるものを再整備	歩道整備無し	4		4				
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施		0		0				
	小 計				15	15					
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ確実性が高い	環境配慮がされているが確実性が低い	環境配慮をしていない	C	3	C	3		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)	特別な位置づけはない		0		0		
		小 計					3		3		
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上	B/C 1.0~1.5未満	B/C 1.0未満	A	5	A	5		
		事業効果の早期発現	事業年数 3年以内	事業年数 4年~5年以内	事業年数 6年以上		8		8		
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	コスト縮減はしていない		5		5		
		小 計					18		18		
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	A	10	A	10		
		各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に係らない道路		6		6		
小 計					16		16				
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	B	6	B	6			
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない		3		3			
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない		4		4			
	小 計					13		13			
費用対効果(B/C)		2.2	評 価 の 合 計			B	65	B	65		
事業周 辺環 境	事業実施に至る歴史的背景	当路線は、松本市の外環状線の一部を構成する道路である。また、国道254号から浅間温泉、美ヶ原温泉を経由し美ヶ原高原へ向かう重要な観光ルートでもある。2002年に美ヶ原ビーナスラインが全線無料化による、観光車両の通行は多い。当箇所は道路が狭隘で変則的な交差点となっていることから、事故が多発している。そのため、地元から交差点改良の要望が上がっている。									
	地域からの要望経緯	毎年、地区から要望あり。平成22年度も9月21日実施の山辺地区開発促進協議会現地視察にて強く要望。									
	事業説明等の経緯	平成22年4月25日に地元役員へ説明、同年9月25日に地元と現地立合により計画説明を実施し、計画について了解を得る。									
	環境・景観への配慮項目	極力現道を利用し、構造物を少なくするよう検討したい。									
	他事業・プロジェクトとの関連	松本市都市計画道路整備プログラム 松本都市環状道路(外環状線)									
特記事項	松本外環状線の整備により、市街地中心部に流れ込む交通を分散させ、中心市街地の渋滞緩和を図り、生活環境向上への側面的な支援を行う。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であったため、H23年度から事業化をしたい。			政策評価課 意見	緊急性は認められる。						